

## 葬送儀礼(葬儀)について 2

### 仏教 位号について

仏教信者に与えられるもので「信士・信女」などを位号という。

死産、流産の子どもは「水子」で男女の区別はない。

生まれたばかりから1歳までは「嬰兒・嬰女」でこれ以降男女の区別がある。

1歳から3歳までは「孩子(がいし)・孩女」

4歳から15歳までは「童子・童女」

それ以上の仏教支援者、修行者には「居士・大師」

昔は大居士、清大師となると一国の大名につけた位号(徳川家康、織田信長)であった。

「信士・信女」など他にも位号はある。

浄土真宗に位号はない、釈〇〇、釈尼〇〇となる。

喪に服す・喪にこもるという言葉がある。

喪は「亡」と「哭」の合わさった会意文字で亡き人を哀悼して哭くという意味である。

七七日(四十九日)までは自宅に安置されている場合が多いがこれは仏教の輪廻転生の考え方である。

死から次の生を受けるまでの期間で中有・中陰と呼ばれる。

1874(明治7)年 太政官布告、服忌令		
父母	忌50日	服喪13ヶ月
祖父母	忌20~30日	服喪90~250日
夫	忌30日	服喪13ヶ月
妻・嫡子	忌20日	服喪90日
兄弟姉妹	忌20日	服喪90日
孫	忌3~10日	服喪7~30日

※神式では五十日祭まで。

キリスト教式に忌明けはありませんが、一ヶ月の召天記念日までと考えられています。

現在では一周忌(死去一年後)までの一年間を喪中とするのが一般的です。

近親者の逝去に伴い一定期間喪服を着用して故人の冥福を祈って慎ましく生活を送ることを「喪中」

七七日(四十九日)の法要である「忌明け法要」または「満中陰法要」をもって忌明けとします。

葬儀事情札幌から <https://sogi.2lala.net> > 仏教 <https://sogi.2lala.net/buddha.html>